



【外 観】 無色透明液体

【液 性】 酸性 (pH2~3)

【主成分】 乳酸、アルコール系化合物、脂肪族系化合物

【入目・荷姿】 18ℓ ポリ缶 / 200ℓ ドラム缶

【用 途】

- ・ 接着剤 (エポキシ・UV系など) の剥離
- ・ 塗装用治具 (ハンガー、マスキング治具など)、スノコ、アミ等に付着した塗膜の剥離
- ・ 樹脂塗膜の剥離

【特 長】

- ・ 塗膜を膨潤させて剥離する
- ・ 塗料の溶け込みが少ないので、液の寿命が長い ※塗料によっては溶解するものもあります。
- ・ 塩素系溶剤を含有しないので、人や環境に対して影響が少なく安全に剥離処理ができる
- ・ 酸性成分には、危険性の高い硝酸や蟻酸を使用せず、安全性の高い乳酸を使用
- ・ 有機溶剤中毒予防規則、消防法(危険物)、毒劇物取締法、PRTR 法、労働安全衛生法の通知対象物質等に該当しない
- ・ ガラス製品にも使用可能
- ・ 金属に対する腐食性が少なく、アルミ、真鍮、SUS 等ほとんどの金属に使用可能
※鉄素材は長時間の接液で浸食 (エッチング) するので注意してください。
※アルミは種類によって変色するものがあるので、事前に確認試験を行ってください。

【使用方法】

- ① ハクリスト A1 は、原液のまま剥離槽に仕込み、被剥離物を浸漬してください。
※ 加温 (60~90℃) してご使用ください。(洗浄対象物によっては常温でも剥離できる場合有り。)
※ 剥離作業中は、臭気や蒸発防止のため剥離槽にふたをしてください。
※ 加温方法は、スチーム・電気ヒーターを推奨します。
※ 槽の材質は SUS304、316 を使用してください。
[常温で使用する場合は、ポリオレフィン (高密度 PE、PP) 樹脂製が使用可能です。]
- ② 塗膜が軟化・膨潤又は溶解したら引き上げ、その後水洗してください。
- ③ 水洗後、剥離不十分で再浸漬する場合は、被剥離物の水分を乾燥させてから再浸漬してください。
※水洗が不十分な場合は、再塗装の障害となりますので注意してください。
※剥離された塗膜が剥離槽の液中に溜まりますと液の劣化を早めるので、槽に細かい目の網かごを沈めておき、時々引き上げて剥離された塗膜を除去してください。
- ④ 剥離に要する時間が極端に長くなったり、剥離剤を補給しても剥離力が改善しない場合は、一部または全部を入れ替えてください。

【取扱上の注意】

- ・ 皮膚に触れたり眼に入らないように注意してください。
- ・ 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用してください。
- ・ 換気をよくして使用してください。
- ・ 用途以外には使用しないでください。

【法規制】

PRTR法	有機則	消防法 (危険物)
非該当	非該当	非該当

※加熱でご使用の際は、剥離剤組成の内の低沸点の水が、他の成分より先に蒸発し、組成変化、物性 (pH 等) 変化の原因となります。剥離液の性能を維持するため水分の管理にご注意下さい。
※アルミ材は、品種により水、熱、化学物質などの影響で変色するものがあります。剥離剤の選定の際は、事前にテストをして選定されるようお願い申し上げます。

【製造元】

 **クソノキ化学株式会社**

本 社 大阪府富田田市若松町東 1-205
TEL 0721-26-2271 (代表) FAX 0721-26-2273

【販 売】

三菱ガス化学トレーディング株式会社

東京都千代田区神田錦町二丁目 2 番地 1 KANDA SQUARE 15 階
化学品第三部 化学品第三グループ
TEL03-6626-3363 FAX03-5577-1064